

# あいかわ 議会だより

第 173 号

令和4年5月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基  
年4回発行・本号18ページ



双子の弟をあやすお兄ちゃん

## 「あいかわ・ほっこり写真館」

～議員撮影～

- 各会計の新年度予算を可決 ..... P.2
- 議員提出議案  
「国際社会の平和と安全及びロシア軍の  
即時撤退と平和的解決を求める決議」 ..... P.4

〈第1回3月定例会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に  
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP17をご覧ください



令和4年5月15日

2022 愛川町議会

令和4年第1回愛川町議会「3月定例会」は、3月1日から3月25日まで、会期25日間（本会議開催日6日間）にわたり開催され、条例の一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算など、合計で26件の町長提出議案及び1件の議員提出議案を審議し、全議案を可決（承認）しました。



古民家山十郎

令和4年第1回3月定例会日程

Table with columns: 月日曜, 会議名, 主な内容. It lists the agenda for the 3rd regular session, including general council meetings, committee meetings, and council sessions.

3月定例会

総額251億5千876万8千円 令和4年度当初予算を可決

自治功労者表彰



山中 正樹 議員

山中正樹議員が、議会議員として通算15年以上在職し、地域の振興発展に寄与した功績により全国町村議会議長会自治功労者表彰を受けました。

《令和4年度各会計予算額》

Table showing budget details for various categories: 一般会計, 特別会計 (国民健康保険, 後期高齢者医療, 介護保険, 小計), 企業会計 (公共下水道事業, 水道事業, 小計), and 合計.



上記のQRコードを読み込むと、スマートフォンやタブレットから当初予算の詳細がご覧になれます。



©愛川町

【施行期日】 令和4年4月1日
※議長は表決に含まず。
◎一般会計予算
◎国民健康保険特別会計予算
◎後期高齢者医療特別会計予算
◎介護保険特別会計予算
◎公共下水道事業会計予算
◎水道事業会計予算
◎愛川町自治基本条例の一部改正

条例議案

◎愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (賛成全員)

妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のため、継続的な勤務が見込まれる非常勤職員である会計年度任用職員について、採用当初から育児休業及び部分休業を取得できるよう、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。



【施行期日】 令和4年4月1日

◎愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (賛成全員)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校運営に必要な支援に関して、協議する学校運営協議会を設

置することに伴い、新たに非常勤職員の職を設けるため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和4年4月1日

◎愛川町国民健康保険税条例の一部改正 (賛成全員)

子育て世帯の経済的な負担を軽減する観点から、納税義務者の属する世帯内に未就学児がいる場合、当該未就学児に係る均等割について、5割減額する規定を追加するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和4年4月1日

◎愛川町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正 (賛成全員)

災害の防止及び生活環境の保全を図るため、土砂等による土地の埋立て、盛土及び切土行為に関する規制の対象となる事業

を拡大するとともに、土砂等の量に係る規制を追加するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和4年4月1日

◎愛川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 (賛成全員)

全国的な消防団員数の減少という現状を踏まえ、消防団員の処遇改善に必要な措置を講じ、地域防災力の一層の充実・強化を図るため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和4年4月1日

◎愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正 (賛成全員)

恩給・共済年金担保融資が、令和4年3月31日をもって廃止されることから、本条例に規定している傷病補償年金、障害補償年金又は遺族補償年金を受ける権利を株式会

社日本政策金融公庫等に担保することができるとする規定を削除するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和4年4月1日



専決処分の承認

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第10号) (賛成全員)

新型コロナウイルスのオミクロン株による急速な感染拡大を受け、自宅療養やワクチン接種に関する相談を一元的に受け付ける新型コロナウイルスポータル窓口の設置をはじめ、自宅療養者に対する食料

支援や、重症化しやすい妊産婦を対象とした抗原検査キットの配布など、速やかに対応ができるようにするため、専決処分を承認したものです。

【補正額の詳細は、歳入

歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ703万1千円を追加し、一般会計の総額を146億7,904万3千円としたものです。

補正予算

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第11号) (賛成全員)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億6,880万3千円を追加し、その総額を153億4,784万6千円としたものです。

主な内容は、感染リスクの高い病院や福祉関係施設等に勤務されている方へ、ねぎらいと応援・感謝の意を込めて、メッセージを添えたフラワー

アレンジメントを贈答するものです。また、障害者総合支援法に基づく共同生活援助や放課後等デイサービスなどの利用件数が増加した分の費用です。



写真はイメージです フラワーアレンジメント

◎令和3年度愛川町一般会計補正予算(第12号) (賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ982万3千円を追加し、一般会計の総額を153億5,766万9千円としたものです。

主な内容は、「観光・産業連携拠点づくり事業基本計画」や「ハザードマップ」を整備するにあたり、令和3年度から4年度に繰越し、執行する必

令和4年5月15日

要があることから、繰越明許費として計上したものです。

◎令和3年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (賛成全員)

◎令和3年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (賛成12人、反対3人)

◎令和3年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)

◎令和3年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第1号)

◎令和3年度愛川町水道事業会計補正予算(第1号) (以上、賛成全員)

### 事 件 議 案

#### ■財産の取得

◎愛川町立小中学校等空気清浄機購入(賛成全員)

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、小中学校等の公共施設に設置する空気清浄機を購入したものです。

取得価格(合計191台) 2千6万3千378円  
納入者 株式会社ミリオンス務機器  
納入期限 令和4年3月28日



各施設に設置した空気清浄機

◎施設管理の瑕疵に係る損害賠償 (賛成全員)

害を与えたため、本町の義務に属する損害賠償額を定めたものです。  
損害賠償額 46万5千473円

◎愛川町立田代小学校校舎3階の窓枠が外れ落ち、駐車していた車に損害を与えたため、本町の義務に属する損害賠償額を定めたものです。

■町道路線の廃止及び認定 (賛成全員)

一般交通の用途に供する必要がなくなった路線や新たに町道として管理する必要が生じた路線について、町道路線の廃止及び認定をします。  
今回は中津・半原地区内の3路線の廃止を行い、新たに中津・半原地区内の4路線を認定しました。

#### ■損害賠償額の決定

◎施設管理の瑕疵に係る損害賠償 (賛成全員)

中津地区内の車道に垂れ下がっていた街路樹に、相手方の車が接触し、損

### 議員提出議案

損害賠償額 64万2千642円

◎国際社会の平和と安全及びロシア軍の即時撤退と平和的解決を求める決議 (賛成全員)

国際社会の平和と安全を心から願い、ロシア軍の即時撤退と早期の平和的解決が実現されることを強く求めることを議会の意思として対外的に表明することが必要であると判断したため、決議を可決したものです。

### 国際社会の平和と安全及びロシア軍の即時撤退と平和的解決を求める決議

本町では、平成7年に「愛川平和の町宣言」を制定し、真の恒久平和の確立に向け、未来を担う子どもたちを主体に、戦争の悲惨さと平和の尊さを広く啓発している。また、本町に在住している多くの外国籍の方とは、日常的に国際交流活動の充実を図りながら、多文化共生の推進に努めている。

こうした中、2月24日のロシア軍によるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を脅かすもので、このような武力による一方的な現状変更への試みは、いかなる国、地域であっても断じて許されるものではなく、平和な国際社会の実現を願う愛川町民の想いに反するものであり、決して看過することはできない。

よって、本町議会は、人々の尊い命と平和な暮らしが理不尽に奪われることのないよう、国際社会の平和と安全を心から願うとともに、ロシア軍の即時撤退と早期の平和的解決が実現されることを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月25日



愛川町議会

### 個人総括質疑

3月8日の本会議では、補正予算議案を対象に、玉利議員、阿部議員、岸上議員、山中議員の4名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

ふるさと納税 推進事業費増額

■増額の理由について

障害者介護給付・訓練等給付事業費増額

■事業費が大幅に増額となった主な理由について

母子保健事業 総務管理経費増額

■増額の詳細について

国民健康保険財政 調整基金積立金増額

■積立金残高について

# 会派代表質問

本会議5日目の3月10日は、町長の施政方針等に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。

## 公明党 (井出一己議員)

**問** 良好な学校施設環境の計画的な整備の考えについて

**町長** 担当職員の点検や学校現場からの要望を把握し、維持管理に努める。

学校施設は、児童・生徒が毎日楽しく過ごすための大事な学びの場であるため、安全性や快適性を確保するなど、適切な維持管理が必要であると考えています。これまでも計画的に小・中学校の校舎や体育館の耐震改修工事、校舎屋上防水工事などを実施してきました。令和4年度は菅原小学校と愛川中原中学校の体育館照明をLED化し、田代小学校と愛川中学校のトイレを洋式に改修するための予算を計上しました。今後も町の公共施設個別施設計画に基づき担当職員の点検や学校現

場からの要望等を把握し、適切な維持管理に努めていきます。

【第5次総合計画について】ほか3問



愛川中原中学校体育館の様子 (照明のLED化の調査)

## 日本共産党 愛川町議員団 (小林敬子議員)

**問** 子育て教育に配慮した未来投資型予算としたその背景について

**町長** 子供たちの健やかな成長を願うことは、将来の国の原動力への投資。

生命の誕生から始まる子供たちの健やかな成長を切れ目なく支援しながら、町民の誰もが健康で

幸せを実感できるまちづくりを進めていくことは、私たちに課せられた使命であり、子供たちの健やかな成長を願うことは、

将来の国の原動力への投資であると考えています。

将来にわたり、子供たちや孫たちに、現在よりも豊かな社会をつないでいくことが大切であると考えるため、子育て・教育に配慮した未来投資型予算としたものです。

**問** 自衛官を町職員として採用した考えと期待するものについて

**町長** 知識、経験を基に幅広い防災業務への対応ができるものと期待。

近年、各地で地震が頻発し、気候変動による、大型台風の襲来や局地的な豪雨などが以前よりも多発しているため、危機管理体制等の強化がより一層求められる時代です。令和4年度からは、防災、危機管理に専門的

総合的な経験のある自衛官を町職員として採用し、災害発生時には、自衛隊派遣要請の判断をはじめ、

初動対応時における国・県の関係機関との連絡調整など、災害対応の総括的な役割を果たすものと期待しています。

また、平常時には、職員への防災研修等による組織力の強化のほか、行政区をはじめとした自主防災組織への防災啓発活動のより一層の推進など、

自衛隊在職中に培った専門的な知識、経験を基に幅広い防災業務への対応ができるものと期待しています。

【地方債の活用について】ほか2問



行政区での防災訓練の様子

## あいかわの聲 (熊坂崇徳議員)

**問** 春日台センター跡地に誕生した施設との連携について

**町長** 町と施設、住民が一体となり、地域密着型サービスの質の向上に向け、様々な地域行政に取り組み。

かつてにぎわった春日台センターの名称を受け継ぎ、新たに誕生した「春日台センター」では、機能訓練などを通じた住民ボランティアとの連携や同じ建屋内にある店舗を活用した地域との交流のほか、放課後等デイサービスを利用する子供たちの見守りを高齢者や地域住民に協力していただく予定となっております。町では、こうした施設の自発的な取り組みに対し、高齢者介護・障がい者福祉など、様々な機能を有した中核的拠点とし

可決議案の内容等

会派代表質問

常任委員会

討論

会派議決一覧

一般質問

研修・用語解説

議会クイズ・お知らせ

令和4年5月15日

て、制度、分野の枠を超え、町と事業者、地域住民が一体となって地域行政の様々な取り組みができるよう連携していきたいと考えています。



春日台センターセンター

情報化施策に取り組んできました。

具体的には、まちの魅力や移住に関わる情報を紹介するスマートフォンサイトや愛川町LINE公式アカウント開設のほか、町税や水道料金などをスマートフォンから支払うことができる電子決済を導入し、時勢に見合った様々なニーズを捉えながら情報化施策に取り組んできました。

令和4年度は、マイナンバーカードを活用した住民票や印鑑登録証明書をコンビニで交付できるサービスの開始を予定しています。また、インターネットを通じて、好きなときに読書が楽しめる電子図書の導入も予定しています。

**問** 情報化推進のこれまでの実績と来年に向けての考えについて

**町長** 住民票等のコンビニ交付と電子図書のサービスを（本年10月予定）開始。

ICTの活用など情報化の推進については、これまでにも情報化推進計画などに基づき、様々な

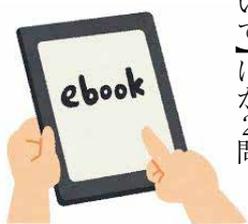
**令和あいかわ**  
(茅 孝之議員)

**問** パートナーシップ宣誓制度を導入するに至った経緯について

**町長** 婚姻関係と同等のサービスが受けられるなど、一定の効力を期待。

この制度は、性的少数者、事実婚など同性・異性といった戸籍上の性別にとらわれず、パートナーシップのある2人が両者の意思により人生のパートナーであることを宣誓し、町がその事実を証明するものです。その効力としては、法律上の婚姻とは異なり、法的な拘束力はありませんが、自治体独自の証明書を発行することにより、婚姻関係と同等のサービスが受けられるなど一定の効力が期待されています。

町でも、人権尊重社会の推進を目指した取り組みを推進していますので、



【森林整備の取り組みについて】ほか2問

性的マイノリティーや事実婚関係にある人たちの生き方を後押しするため本制度を導入することとしたものです。



**問** 広報シテイセールの推進に係る新年度の主な取り組みについて

**町長** 中学生以下の子供たちを対象に未来の「アイカワミライエ」を募集する。

広報シテイセールの新たな取り組みとして、東名高速道路下り線の海老名サービスエリアにおいて、町のPR動画を放映するなど来訪者の誘致に努めます。また、シテイセールスパンフレットについても、子育て中の若い世代向けに内容を改定する予定です。

定する予定です。

さらに、コロナ禍にあっても夢と希望が持てるよう、中学生以下の子供たちを対象に未来の愛川町を描いた「アイカワミライエ」を募集します。

【空き家対策について】

**あすかみらい**  
(山中正樹議員)

**問** 地籍調査に係る全町地域の終了時期について

**町長** まずは、春日台地区の調査を終了させることが先決。

地籍調査については、最新の技術を用いた土地一筆ごとの境界や面積の測量を行い、登記の情報を正確なものに改めることにより、町民皆さんの貴重な財産の保全や、土地の境界に関わる紛争を未然に防止するとともに、災害時の迅速な復旧、復興にも役立つものです。

町では、土地利用率高く、人口密集地区であ

る春日台地区の約34ヘクタールを対象に、令和元年度から調査に着手し、予定どおり順調に進んでいるところですが、本来の地籍調査の目的からすると、町内全域で調査を実施する必要がありますが、この調査には多額の費用と時間を要するといった課題があります。

よって、町内全域に結びつける前に、まずは現在取り組みを進めている、春日台地区の調査を終了させることが先決であり、引き続き、土地所有者の皆さんのご理解とご協力を得ながら、できる限り早期に終了できるように努めていきます。

【国民健康保険特別会計について】ほか6問



# 常任委員会での審査

条例議案や令和4年度当初予算の審議をより詳細に行うため、各常任委員会において、現地調査及び質疑を行いましたので、その内容の一部を紹介します。

## 総務建設常任委員会

### 防災行政無線管理経費

**問** 災害時用Wi-Fi利用料の詳細について

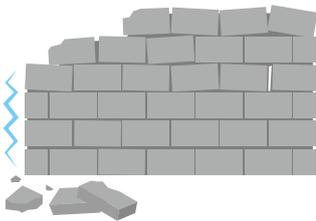
**答** 災害対策本部の設置時において、停電等により庁内ネットワーク回線が使用できなくなった場合のほか、指定避難所に従事する職員のインターネットを活用した情報収集用、また町内パトロール状況の画像や動画等を災害対策本部への伝送用として、合計11回線分のポケットWi-Fiの導入に伴う費用です。費用の詳細は、契約時の初期事務料に加え、通信料、保証料を合わせた20万円を予算計上したものです。

### 耐震改修促進事業費

**問** 危険ブロック塀等耐震化補助金の詳細について

**答** この補助金は、地震等の災害時におけるブロック塀等の倒壊や、転倒による被害の未然防止を目的として、倒壊等のおそれのある危険ブロック塀等の撤去、又は撤去に併せ安全な工作物を設置する費用の一部を補助するものです。

補助率は、かかる費用の2分の1以内とし、限度額は、撤去の場合は10万円、撤去に併せ安全な工作物を設置する場合には20万円としています。令和4年度予算は、撤去する場合の2件分で20万円、撤去に併せ安全な工作物を設置する場合の3件分で60万円、合計で5件分の80万円を計上したものです。



慎重な審査を行いました。

## 教育民生常任委員会

### 中津公民館維持管理経費

**問** 中津公民館和室B・茶室水屋畳表替え修繕の詳細について

**答** 中津公民館の和室Bは、ヨガや体操などのサークルのほか、子育てサロン、会議などでの利用があり、茶室水屋は、お茶や手芸などのサークルのほか、少人数での打ち合わせに利用されています。

畳の経年劣化により、擦り切れやささくれなどの損傷が生じ、利用者の衣服等に付着することもあることから、和室Bの21畳、茶室水屋の6.5畳分の畳表替えの修繕を行い、維持管理に努めるものです。



中津公民館の現地調査を行いました。

### ねんりんピックかながわ2022将棋交流大会開催経費

**問** 「町民の意識高揚を図り」「町の魅力を全国に発信する」取り組みについて

**答** 本県で初の開催となるねんりんピックかながわ2022将棋交流大会

開催に際し、町民の意識高揚を図るため、のぼり旗や懸垂幕等を掲出し、事前の気運醸成に努めるとともに、大会の会場には、本町を紹介する写真や水石、花き等のおもてなしの心を形にした様々な作品を展示するなど、現在、町文化協会の加盟団体と調整を進めています。



ねんりんピックのマスコット「かながわキンタロウ」

# 討論

25日の本会議最終日に、各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。内容の一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

## 賛成 公明党 佐藤 りえ議員

全議案に対し、意見と要望を入れながら、賛成の立場から討論します。はじめに、一般会計予算の歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響で、経済情勢の厳しい状況が続く中で、町税が前年度より6.3%の増となりました。しかし、原油価格の高騰や円安等により、日本経済に大きな影響がある中で、ロシアのウクライナ侵攻により、ロシアへの経済制裁がさらに世界経済に影響を与えています。一層の財源確保の取り組みをお願いします。

【ついに！町一周駅伝記録計測業務にICチップを導入。立科町との交流事業にも期待】  
次に、歳出の主な事業です。町一周駅伝競走大会では、記録計測器（ICチップ）の導入により、記録計測業務が円滑に処理できることを期待します。また、立科町との友好都市提携35周年を記念し、立科町の子供たちを招いてのミニ駅伝、スポーツ少年団との交流事業が計画されています。スポーツを通して互いに交流し、友情の輪が広がるよう、盛大に実施されることを望みます。



町一周駅伝  
たすきリレーの様子

【三歳髪置き祝金3万円の給付など、さらに子育て世帯への支援を充実】  
新規子育て応援事業では、成長の節目となる満3歳のお子さんを持つ養育者に三歳髪置き祝金の給付、また、満1歳までのお子さんを持つ養育者の育児ストレス、子育ての不安や孤立を防ぐことを目的として、妊婦や乳児のいる家庭に対し、ベビーシッター等を利用した費用の一部助成など、子育て世代への経済的負担の軽減に努められることを評価します。



ありんこ高峰作業所

【農福連携モデル事業で農業と福祉分野の課題解決】  
ありんこ高峰作業所の施設改修により、来年度から付加価値のある乾燥野菜などを活用した商品を開発、製造、販売を推進するこの取り組みは、作業所の受注量の増強と利用者の工資アップ、そして担い手不足の農家への支援につながることを目標としています。農業分野と福祉分野の課題を解決するとともに、SDGsの理念にもかなうこの取り組みには、今後大いに期待します。

## 賛成 日本共産党愛川町議員団 井上 博明 議員

本定例議会に提出されました諸議案に対して賛成の立場から討論します。【国民健康保険税均等割を5割軽減】  
議案第6号、「愛川町国民健康保険税条例の一部改正」については、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、未就学児の属する世帯に対し、国民健康保険税の被保険者均等割を5割軽減する規定が追加されたものです。日本共産党議員団はかねてから、一般質問や予算要望において、町長に対し、関係団体を通じて国に働きかけるよう要請してきました。今後も、さらに対象や減免幅が拡充されることを要望します。

【高齢者の補聴器購入費上限2万円を助成】  
一般会計歳出の高齢者世帯援護事業では、70歳以上の聴力機能が低下した在宅高齢者を対象に、た在宅高齢者を対象に、上限2万円が助成されます。所得制限や医師の診断書を不要としたことは、県下の中でも先進的な取り組みがされるといって評価します。

【2025年に向け高齢者のニーズを的確に把握】  
介護保険特別会計予算では、団塊の世代が75歳を迎える2025年が到来する中で、高齢化の進行や要介護認定率の上昇などが懸念されます。高齢者の日常生活の状況や心身の状況、介護予防に対する意識のほか、在宅介護の状況などを的確に調査・分析しながら、第9期の計画の策定に向け、高齢者のニーズを把握できるように努めてください。



## 賛成 あいかわの聲 玉利 優議員

一般会計を中心に賛成の立場から討論します。  
「アスレチック遊具等のリフレッシュ」



八菅山いこいの森 森具アスレチック遊具

### WiFiアクセス

ポイント増設に期待  
学校運営のさらなるICT化を進めるために、

WiFiのアクセスポイントが職員室にも拡大されます。今後は、避難所となる学校体育館にも拡大をお願いします。また、生涯学習の拠点となっている文化会館や半原・中津公民館にWiFiのアクセスポイントを増設することも評価します。ストレスのない通信環境の整備に努めてください。

## 賛成 令和あいかわ 茅 孝之議員

町長が掲げた施政方針の柱に沿って、意見と要望を踏まえ、賛成の立場から討論します。

### 旧半原小学校 懐かしの学び舎の利活用

豊かな人間性を育む文化のまちづくりは、未来の宝物である子供たちの学校教育や社会教育、スポーツ振興に関する内容です。その中で、旧半原小学校校舎の懐かしの学び舎の活用は、本町の歴史を知ることはもとより、



旧半原小学校 現地調査の様子

昔の暮らしを肌で感じる事ができる貴重な事業です。地震対策など、安全策を考えた上で実施をお願いします。

### 「新生児への贈り物！ 木材の「歯がため」要望」

多彩な産業の活力あるまちづくりは、農業振興、林業対策、そして商工・観光振興に関する内容です。林業対策では、森林環境譲与税を活用した林道の維持管理をお願いします。今後は、木の大切さを伝えることや木育という観点から、赤ちゃんの歯が生えてきた頃に使



愛川町の木材で 歯がための作製を要望

## 賛成 あすかみらい 山中 正樹議員

【過去最高の予算 コロナ対策以外もカバー】  
全議案に対し、賛成の立場から討論します。令和4年度の一般会計予算は、過去最高だった令和3年度予算よりも3億1千700万円余りの増となりました。コロナ対策関連では約4千万円の増、臨時的な経費として、消防システム維持費、高規格救急車両購入費を合わせて8千万円足らずの増、経常経費としての民生費が2億円余りの増となり、コロナ対策以外の要因が

う「歯がため」を新生児に贈呈することを要望します。

大きくなりました。【コロナに負けるな！ 3千円の商品券を配布】  
一般会計予算の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策事業として、自宅療養やワクチン接種に関する相談窓口の開設や、新年度も全町民に対し、「コロナに負けるな！元気券(3千円の商品券)」が配布されます。町民が安心して生活できるように事業効果を期待します。



コロナに負けるな！ 元気券 第3弾

交通安全対策では、高齢者の自動車運転を考慮する講習会の開催が予定されています。加齢に伴う認知機能の低下と運転との関係性を認識してもらい、運転免許証返納の促進をするものです。高齢者の運転による事故は年々増加し、社会問題化



写真はイメージです 高齢者自動車運転講習会の効果を期待します。

### 【空き家等解体費用補助 困りごと相談窓口開設】

環境対策では、空き家に関する新規事業として、危険空き家等解体費用補助金の助成が開始されます。老朽化した危険空き家は、周辺環境への影響が大きく、これを解体・除去することで環境保全を図るものです。また、セミナーを開催し、空き家にならないための町民意識の醸成を図るとともに、相続や処分などの困りごと相談窓口を設置する予定です。

## 令和4年 第1回3月定例会 議決一覧表

### ●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出第3号	愛川町自治基本条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第4号	愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第5号	愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第6号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第7号	愛川町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第8号	愛川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第9号	愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第10号	専決処分の承認について（令和3年度愛川町一般会計補正予算（第10号））	承 認
町長提出第11号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第11号）	可 決
町長提出第12号	令和3年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出第14号	令和3年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出第15号	令和3年度愛川町公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出第16号	令和3年度愛川町水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出第17号	令和4年度愛川町一般会計予算	可 決
町長提出第18号	令和4年度愛川町国民健康保険特別会計予算	可 決
町長提出第20号	令和4年度愛川町介護保険特別会計予算	可 決
町長提出第21号	令和4年度愛川町公共下水道事業会計予算	可 決
町長提出第22号	令和4年度愛川町水道事業会計予算	可 決
町長提出第23号	財産の取得について（愛川町立小中学校等空気清浄機購入）	可 決
町長提出第24号	町道路線の廃止について	可 決
町長提出第25号	町道路線の認定について	可 決
町長提出第26号	損害賠償額の決定について（施設管理の瑕疵に係る損害賠償）	可 決
町長提出第27号	損害賠償額の決定について（施設管理の瑕疵に係る損害賠償）	可 決
町長提出第28号	令和3年度愛川町一般会計補正予算（第12号）	可 決
議員提出第1号	国際社会の平和と安全及びロシア軍の即時撤退と平和的解決を求める決議	可 決

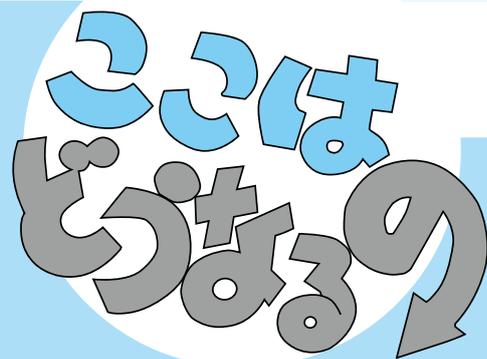
### ●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議案等の件名	公明党			日本共産党 愛川町議員団			あいかわの聲			令和 あいかわ			あすかみらい			無所属 佐藤 茂	議決結果
		井出 一己	佐藤 りえ	岸上 敦子	鈴木 信一	井上 博明	小林 敬子	熊坂 崇徳	渡辺 基	玉利 優	阿部 隆之	馬場 司	茅 孝之	山中 正樹	小島 総一郎	木下 真樹子		
町長提出第13号	令和3年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	●	●	●	○	加 議 長 は 採 決 に あ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
町長提出第19号	令和4年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決

※議案の内容はP2～4を参照

# 一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。なお、3月定例会の会議録は、6月中には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にあるQRコードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

## 茅 孝之 議員 P.11

・自殺防止対策について

## 玉利 優 議員 P.14

・外国籍住民との交流関係について ほか

## 鈴木 信一 議員 P.12

・学校教育環境の充実・整備について ほか

## 小林 敬子 議員 P.14

・医療的ケア児に対する支援について ほか

## 井上 博明 議員 P.12

・愛川町の将来像について ほか

## 井出 一己 議員 P.15

・子育て世帯の新型コロナウイルス感染症支援策について ほか

## 阿部 隆之 議員 P.13

・農林漁業の6次産業化について ほか

## 熊坂 崇徳 議員 P.15

・河川管理について

## 岸上 敦子 議員 P.13

・デジタル化の推進について ほか



©愛川町

町長 自殺対策計画に基づき、「こころサポーター」の育成として、町民養成講座や職員研修を開催し、早期の気づきと必要な支援につなげています。

### 自殺対策計画で推進講座や研修等の開催

**問** 人の命は地球より重いと言われます。昨今の社会情勢の中、自らの手で命を終わらせてしまう方が増えています。そこで、自殺者ゼロの町を目指し、より一層の暮らしやすいまちづくりに取り組む必要があると考えますが、町の考えを伺います。

### 自殺者ゼロの町へ防止対策取組強化



かや たかゆき 茅 孝之 議員



### 養成講座の開催実施キャンペーン協力へ

**問** 自殺に追い込まれない環境を作るためには早期発見し、必要な支援を行う必要があります。そこで、全国的に「ゲートキーパー」と呼ばれる愛川町の「こころサポーター」の人材育成が実施されていますが、町の取り組み状況について伺います。

### 「こころサポーター」として育成強化

福祉支援課長 本町では支援人材確保の取り組みとして、自殺対策を目的とした「こころサポーター養成講座」を開催し、これまで、延べ521名の方が受講しています。こころサポーターの皆さんには地域や家庭内での見守りのほか、毎年9月に自殺予防キャンペーンなどへの協力をお願いしています。



※ゲートキーパーとは：自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげることができる人。

**学校のトイレ洋式化の計画**




すずき 鈴木 信一 議員



トイレの洋式化率  
7割を目指します。

**半原水源地活用  
完成年度を決めるのか**




いのうえ 井上 博明 議員

## 町長が描く将来像は

**問** 近年、コロナの影響による町財政への影響もあり、行財政運営は今後も山あり谷ありという状況が続くかと思えます。

かな成長を切れ目なく支援し、町民の誰もが健康で幸せを実感できるまちづくりを進めていくことです。健康と命を守ることが何よりも行政の基本と考えています。

**問** こうした状況の中、町民が一心に町長の言動を注視し、期待していると思いますが、町長が描く将来像について伺います。

**健康と命を守る  
まちづくりを目指す**

町長 私を描く町の将来像は、まず、命の誕生から始まる子供たちの健や

また、子供から高齢者まであらゆる世代が輝ける、まちづくりを目指すとともに、町のよさや地域資源をもっと発掘し、それを磨き上げながら、持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。

【その他の質問項目】  
官民連携について



現在の半原水源地の様子

## 教職員 時間外勤務の現状と課題

**問** 令和2年4月1日に、「愛川町立学校の教職員業務量の管理に関する規則」が施行され、教職員の適切な管理を行うこととしておりますが、時間外勤務の現状と課題について伺います。

職員に多い傾向があります。こうした勤務状況の中、国からの教員業務支援員の予算等の継続的な確保をはじめ、学校業務のさらなるICT化の検討といった課題に対応していく必要があると考えています。

## 国の動向も注視 早期7割に努力

**教育次長** 本町の財政状況や国の補助金の動向なども注視しながら、できる限り早期に、洋式化率7割が実現できるように努力していきたいと考えています。

## 月45時間以上多数 改善へ徐々に成果

**教育長** 町立の小・中学校において、勤務過多と考えられる月45時間以上の時間外勤務は、校長、教頭の管理職のほか、学級担任、特に経験の浅い

一方、学校現場においては、ICT機器を活用することで会議資料のペーパーレス化や会議の統廃合等を進め、効率化を図るなど、多忙化解消に向け、徐々にその成果が見え始めています。

## 社会情勢も変化 粛々と前に進める

**町長** ここ数年で社会情勢も人の価値観もいろいろ大きく変わってきていますので、完成年度は定めずに、一步一步と前に進めていきたいと考えています。



町長 障がい者等が、完全に避難場所等に移動できる手段の確保は、最重要課題として認識しています。公助としての取り組みとして、福祉車両などを活用した要配慮者の移動手段の確保に努めるとともに、引き続き、地域の実情に応じた共助による取り組みについて支援をしていきます。

**福祉車両活用努める  
地域実情に応じ共助**

**問** 近年、増加傾向にある豪雨災害や地震による広範囲の災害時における、障がい者等の移動手段の確保について伺います。

豪雨・地震等の増加  
障がい者の移動手段



あべ たかゆき  
隆之 議員



主催 神奈川県  
令和3年度

受講無料  
申込受付中

初心者歓迎！  
**6次産業化  
研修会**

もったいないを  
有効活用しよう

「もったいない」を  
加工品や農体験といった  
価値に変える研修会

2022  
2.4~  
スタート

**農林漁業の6次産業化**

**問** 本町における、農林漁業の6次産業化に関する現在までの取り組み状況と今後の考え方について伺います。

6次産業化施設整備事業費補助金を計上したものです。

**事業者を掘り起し  
町の活性化向上へ**

町長 観光牧場を経営する服部牧場さんでは、新たな商品開発・販売を行うためのチーズ販売施設の整備に取り組んできており、新年度の当初予算には、県の補助事業としては、県の補助事業として考えています。

**問** 町民からの各種問い合わせに対応できるAIチャットボットを導入する考えについて伺います。

問い合わせに対応  
AIチャットボット※1



きしがみ あつこ  
岸上 敦子 議員



**時代に相応しいもの  
総合的に慎重に検討**

町長 AIチャットボットの導入は、人口減少社会やDXの時代にふさわしいものと認識しています。今後は、本町の窓口混雑度が常態化にあるのか、また業務の効率性などを視野に、費用対効果や町民が真に必要としているものかどうかなど、総合的に慎重に検討していく必要があるものと考えています。

**電話リレーサービスの周知**

**問** 電話リレーサービスの認識と周知に向けた取り組みについて伺います。

更なる意思疎通支援  
誰もが知ること重要

町長 電話リレーサービスが開始されたことで、さらにきめ細やかな意思疎通支援が図られ、コミュニケーションの活性化が促進されるものと考えています。

今後、公共インフラとしての電話リレーサービスが広く社会に普及し、多くの障がい者に利用していただくためには、当事者の皆さんはもとより、耳の聞こえる方々にも、このサービスについて知っていただくことが重要となることから、町では、国や県と連携をしながら、様々な機会を捉えて周知を図っていきたくと考えています。

- ※1 AIチャットボット：人工知能（AI）を活用して応答業務を行うこと。
- ※2 DXとは：デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を浸透させることで生活をより良いものにする。

電話リレーサービス

きこえない人とときこえる人を「電話」でつなぐ

「電話リレーサービス」は、聴覚や聴覚に障害のある方と聞こえる方を、遠隔オペレーターが手話、文字と音声とを翻訳することにより、24時間365日、電話で両方につながることができます。

電話リレーサービスは、ごんねん館に併設しています。

聴力が伝わる

電話リレーサービス  
ごんねん館  
電話リレーサービス  
ごんねん館

電話リレーサービスは、聴覚や聴覚に障害のある方と聞こえる方を、遠隔オペレーターが手話、文字と音声とを翻訳することにより、24時間365日、電話で両方につながることができます。

電話リレーサービスは、ごんねん館に併設しています。

電話リレーサービス  
ごんねん館  
電話リレーサービス  
ごんねん館

**外国籍住民と交流 相互理解の取組み**



たまり まさる 議員  
玉利 優



**問** 外国籍住民との国際交流や相互理解の取り組みをさらに推進していくべきと思いますが、町の考えを伺います。

**町長** 県の国際課と連携し、外国籍住民の困り事や日本語学習の状況などについて、町内の団体や企業とのヒアリング調査を実施したほか、横浜入国管理局と教育に関する支援策について意見交換を行うなど、今後の施策立案に役立てられるものと考えています。

**ヒアリング調査実施 積極的な情報提供へ**



**ごみの減量化・再資源化**

**問** ごみの減量化・再資源化と可燃ごみ処理の広域化に向けた今後の取り組みについて伺います。

引き続き、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、様々な交流の形を模索します。

**広報紙で記事を掲載 施設組合と意見交換**

**町長** ごみの減量化と再資源化については、町の広報紙で特集記事を掲載し、減量化や資源化にさらに努めてもらうため、適正な分別方法の周知を図っています。また、美化プラントに粗大ごみとして持ち込まれるプラスチック処理が推進されるよう、年間処理量などについて意見交換を行っています。

チック使用製品を本年4月から選別回収し、資源化に努めています。可燃ごみの処理については、平成25年4月から厚木市への委託により広域処理を行っています。厚木市・愛川町・清川村からなる厚木愛甲環境施設組合では、令和7年度中の稼働に向け新たな中間処理施設の整備を進めています。施設の稼働後においても、円滑なごみ処理が推進されるよう、年間処理量などについて意見交換を行っています。

**内陸工業団地内 路上駐車は危険の声**



こばやし けいこ 議員  
小林 敬子



**問** 内陸工業団地内の一部の道路では、トラック等による路上駐車が危険であるとの声が多く寄せられています。町の取り組み状況について伺います。

**禁止看板の設置等 実効性ある対策模索**

**町長** 町職員と交通指導隊が厚木警察署の協力を得て、違法駐車追放啓発パトロールを実施するとともに、団地組合等と連携し、路上駐車禁止看板を設置してきました。路上駐車は、円滑な交通の妨げになりますので、より実効性のある対策を模索してまいります。



厚木警察署の協力のもと違法駐車追放啓発パトロールを実施しています。

**「医療的ケア児支援法」 対象の幼児や学齢児への支援**

**問** 昨年6月に「医療的ケア児支援法」が成立しましたが、対象となる幼児や学齢児を今後どのように支援していくのか、町の考えを伺います。

**町長** これまで、保育所における医療的ケアの必要な児童の入所希望はありませんでしたが、学齢児については、たんの吸引や経管栄養等の医療的

ケアのため、看護補助員の配置や看護士の派遣を行っています。

今後の医療的ケア児への支援については、看護師等の配置に関わる人材確保などの課題もありますが、医療的ケア児と保護者の意思を最大限尊重し、安心した生活や学習の場となるよう、保育分野と教育委員会が連携しながら、よりよい支援ができるように検討していきたいと考えています。

**看護補助員の配置等 保育と教育の連携**

**町長** 子育て世帯への臨時特別給付金の支給をはじめ、本町独自の支援策として自宅療養者への食料品宅配のほか、妊産婦さんには抗原検査キットの配付などを行っています。また、休園休校で孤立させないように、感染防止の徹底を図りながら、

**抗原検査キット配付  
新たにSNSを活用**

**問** 第6波の急速な感染拡大により、保育園や学校が休園休校となり、子育て世帯への支援が急務です。そこで、本町の支援の現状と今後の取り組みについて伺います。

**第6波の感染拡大  
子育て世帯の支援**



井出 一己 議員



町立保育園は原則開所し、小中学校は、最小限の必要な範囲・時間で学級閉鎖としました。さらに、子育て支援センターでは、新たにSNSを活用した情報発信やオンラインによる育児相談などにも取り組んでいます。今後もコロナ禍の生活状況の把握に努め、適切な支援を行ってまいります。

**マイカーに頼らない交通環境**

**問** 愛川町総合交通計画の施策別計画では、「マイカーだけに頼らずに生活できる交通環境の整備」とありますが、バス利用の利便性・快適性向上に向けた取り組みと、バス交通を補完するきめ細やかな交通サービスの提供に向けた取り組みの進捗状況について伺います。

**先進事例など収集  
課題解決に取組む**

**町長** バス利用の利便性・快適性向上に向けた取り組みについては、昨年の6月に八木クリニックやコピーオ愛川を經由する町内循環バスの運行ルートを再編したほか、路



線バスについて、本年1月に愛川バスセンターから海老名駅までの実証運行を開始しました。また、バス交通を補完する交通サービスの提供については、交通弱者に対して、かなちゃん手形やタクシー利用券等の購入費の助成を行っています。今後も交通弱者が安心して外出できる環境整備を重要な課題と捉え、先進事例などの情報収集を行いながら取り組んでいきたいと考えています。

**ごみの不法投棄  
河川管理の現状**



高坂 崇徳 議員



**問** 本町を流れる中津川には、全国から多くの観光客が訪れます。しかし、キャンピングカーやバイクによるごみの不法投棄など多くの課題があります。そこで、河川管理の現状について伺います。

**のぼり旗の設置等  
美化広報を継続実施**

**町長** 町では、河川敷におけるごみの放置対策や火災予防として、のぼり旗の設置をするとともに、ゴールデンウィークや夏休み期間中には、河川敷を巡回して、ごみの持ち帰りを呼びかける河川美化広報を継続的に実施しています。

**厚木土木事務所との連携体制**

**問** 河川敷をきれいに正しく利用していただくためにも、河川管理者である厚木土木事務所と連携をする必要があります。そこで、同事務所との連携体制について伺います。

川パトロールを実施するとともにその結果を市町村へ情報提供をしています。また、不法投棄されやすい河川敷については監視カメラの設置などを行っています。

**県パトロールを実施  
結果を町へ情報提供**

**町長** 県では、河川の中州など、目視のみでは把握が困難な場所については、ドローンを使った河川パトロールを実施などにより、河川敷内に家電や建築資材等の不法投棄物を確認した際には、町と県が合同で現地調査を行い、県において撤去や処分を行っています。



キャンプ等で賑わう中津川河川敷の様子

令和4年5月15日

### 第6次愛川町総合 計画議会検討会

町政運営における最上位計画である総合計画が令和4年度をもって、第5次総合計画が期間満了となり、第6次総合計画の策定が予定されていることから、町議会では2月18日に全議員による「第6次愛川町総合計画議会検討会」を立ち上げました。  
本検討会の調査状況は、今後の議会だよりに掲載していきます。



### 愛甲郡町村議会議員研修会



令和4年3月29日に、

愛川町役場4階会議室において、郡町村議会議員研修会を次のとおり開催しました。

■講師

太田雅幸法律事務所  
弁護士 太田雅幸氏

■研修テーマ

「議員活動のコンプラ  
イアンスについて」

## 議会用語解説

読者の方から寄せられたリクエストにお答えし、普段、馴染みのない議会用語を一部紹介します。

議会用語	解説
定例会	定例的に招集される議会の会議のことをいいます。 町では、原則として3月・6月・9月・12月の4回を条例で定めています。
臨時会	定例会のほかに、必要な特定の事件に限って審議するため、随時招集される議会です。
常任委員会	議会の権能強化と行政の複雑化・専門化に即応するために、条例で定めて常設する委員会のことです。町では、総務建設、教育民生、広報広聴の3常任委員会を設置しています。
一般質問	議員個人が町の行財政全般にわたり、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。
専決処分	議会の議決が必要な事項について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないとき、町長が議会に代わって意思決定をすることです。なお、専決処分をした場合は、次の議会において報告・承認を求めなければなりません。

第23回 議会クイズ

- 問1** 令和4年度当初予算の総額は、どのくらいでしょうか？  
 ①約151億円 ②約251億円 ③約351億円
- 問2** 3月議会の決議において、何軍の即時撤退を求めたでしょうか？  
 ①ウクライナ軍 ②NATO ③ロシア軍
- 問3** 令和4年第2回定例会の初日は、何月何日に開催予定でしょうか？  
 ①5月17日 ②6月17日 ③7月17日

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、**必ず**議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。  
 ☆正解と当選者は次号で発表します。

《しめきり》 5月31日（火）（郵送の場合は当日消印有効）

- 《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392  
 角田251-1 議会事務局
- ファクスの場合 046-286-5021
- 電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインの場合  
 右記のQRコード  
 を活用して、応募  
 ができます。



第22回議会クイズの  
 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

- 問1・②神奈川県議会  
 問2・③玄孫  
 問3・①5月20日

《当選者》

- 傍示 和子様  
 新館 佳奈様  
 家城 美智子様  
 以上3名

議会事務局職員  
 異動のお知らせ

4月1日付 異動

（新）議会事務局主事補

熊坂 実優

（住民課 主事補）

（旧）生涯学習課副主幹

高橋 愛

次回定例会の  
 お知らせ

次回、第2回定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は5月6日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

令和4年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名
	17	火	本会議(提出議案の説明)
	19	木	本会議(一般質問)
	20	金	本会議(一般質問)
5	23	月	総務建設常任委員会
	24	火	教育民生常任委員会
	27	金	本会議(総括質疑、討論、採決)

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

Tel 046-285-2111  
 (内線3792)

# 「あいかわ・ほっこり写真館」

木々の緑がみずみずしく感じられる新緑の季節となりました。担当する委員一人ひとりが自然あふれる愛川町の魅力を皆さんにお伝えするため、写真を撮影してきました。それぞれの写真をみて心がほっこりしていただければ幸いです。



風の丘のベンチで♥ひとやすみ  
(あいかわ公園)



青空や菜の花並べばウクライナ(三増)



町の素晴らしい景観が  
一望できます



武田軍と北条軍が戦った  
三増合戦場



鳶尾山頂からのぞむ内陸工業団地



春立つ日わたしが前座と  
白い花(半原)



南山からのぞむ仏果山と高取山

◎議会クイズは17ページに掲載しています。

## 編集後記

3月の定例会は、新年度予算を審議する重要な議会です。一般質問のほか、個人総括質疑、会派代表質問や各常任委員会での現地調査及び予算審議など行い全議案を可決しました。

今号では、定例会の結果をお伝えするとともに大好評の議会クイズ、また、読者の方から寄せられたリクエストにお答えし、議会用語解説も掲載しました。なお、表紙と上記の写真は「あいかわ・ほっこり写真館」と題し、委員が撮影したものです。今後もより多くの方に読んでいただける議会だよりを目指して、取り組んでいきます。

### 広報広聴常任委員会

委員長 岸上 敦子  
副委員長 茅 孝之  
委員 玉利 優  
委員 阿部 隆之  
委員 熊坂 崇徳  
委員 小林 敬子  
委員 井出 一己  
委員 山中 正樹  
委員 小島 一博  
委員 井上 明